

令和2年度海洋教育実践事例

学校名	学年	教科等	単元名又は授業名	関係機関・団体	頁
原井 小学校	4年	総合	浜田の魅力を伝えよう	渚の交番 be 浜田ライフセービングクラブ 浜田の海で生活する会	1
雲雀丘 小学校	5年	総合	ふるさと浜田再発見！！ ～浜田の水産業～	JFしまね浜田支所 浜田市水産振興課	2
松原 小学校	5年	総合	浜田の海のために できること	株式会社シーライフ 山陰中央テレビ株式会社 生涯学習課、観光交流課	3
石見 小学校	3年	総合	海の生き物について知ろう ～海の生き物の自然のかくし 絵～	しまね海洋館アクアス 魚類展示課学習交流係	4
美川 小学校	4年	総合	周布川について調べよう	しまね海洋館アクアス 魚類展示課学習交流係	5
周布 小学校	3年	総合	「浜田のよさを知ろう」	浜田の海で生活する会	6
長浜 小学校	5年	総合	浜田の海を知ろう	島根県水産技術センター 浜田市水産振興課	7
三階 小学校	5年	総合	浜田市の水産業について調べ よう	島根県水産技術センター	8
雲城 小学校	4年	総合	ふるさと浜田・金城の環境山 ・川・海のつながり)を学ぼう	浜田ライフセービングクラブ 浜田の海で生活する会	9
今福 小学校	5年	総合	魚料理に親しもう	浜田市水産業振興協会, 浜田市水産振興課	10
波佐 小学校	全 学年	総合	海の環境保全 春夏秋冬 自然散策をしよう	波佐文化協会	11
旭 小学校	1年	生活科	浜辺を歩いてみよう	しまね海洋館アクアス	12
	2年	生活科	生きもの なかよし大作せん (海の生き物をしろう)	しまね海洋館アクアス	13
	4年	学級 活動	食べてみよう！ 地域でとれる食材や食品	旭学校給食センター	14
	5年	社会科	「水産業のさかんな地域」	浜田市水産振興課	15
弥栄 小学校	全 学年	体育 生活科 総合	海の安全について	浜田の海で生活する会 浜田ライフセービングクラブ	16
岡見 小学校	6年	理科	人と環境とのかかわり	しまね海洋館アクアス	17

※ 国府小学校と三隅小学校は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響により、実践事例の報告がありませんでした。

※ 総合：総合的な学習の時間



令和2年度海洋教育実践事例

学校名		浜田市立原井小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
4	総合的な学習の時間	浜田の魅力を伝えよう
単元又は授業等のめあて・目標		浜田の海の魅力を知ろう ・浜田の海で遊ぶことを通して、浜田の海の魅力を発見する。
関係機関・団体等		渚の交番be [浜田ライフセービングクラブ・浜田の海で生活する会]
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>日時：9月16日（水） 場所：瀬戸ケ島</p> <p>渚の交番beのスタッフの方にライフジャケットを用意してもらい、瀬戸ケ島の海で海遊びをした。浜田の海で遊ぶことで、浜田の海の魅力を知ることが目的で行った。 ニッパーボードを借りて一人ずつ体験した。</p>		
 		
海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>浜田市の海の課題を事前に調べることで、「浜田の海を大切にしていこうにはどうしたらいいか」児童の中で課題意識をもてるようにした。そして、さらにその課題を解決するためにどうしたらいいか話し合いを行うことで、「浜田の海の魅力を伝えよう」という最終的な目標をもち、そのために「浜田の海の魅力を知ろう」という、この活動のめあてを自分たちで作れるようにした。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>ライフジャケット・ニッパーボードの経験がなかったため、「こんな楽しい遊びができる浜田の海っていいな」という思いをもつ児童がたくさんいた。最終的には新聞を作り、浜田の海の魅力を伝える新聞をゆめタウンに掲示することができた。</p> <p>実際に市民の方々に浜田の海の魅力が伝わったかどうかを確認することができないため、自分たちの活動がどれだけ効果があったかを確かめることができなかった。自分たちの活動の結果を確かめる手段を考える必要がある。</p>		





学校名		浜田市立雲雀丘小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5	総合的な学習の時間	ふるさと浜田再発見！！～浜田の水産業～
単元又は授業等のめあて・目標		浜田の水産業についての調べ学習や発表を通して、自分たちのふるさとのよさに気付き、ふるさとを大切にしていこうとする心情を育てる。
関係機関・団体等		JFしまね浜田支所 浜田市水産振興課
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>はじめにイメージマップを活用して浜田の水産業についてのイメージや情報をふくらませた。次に、ペンタゴンチャートを使って個々に課題を設定した。図書資料やインターネットを活用した調べ学習と浜田漁港の見学を行った。浜田漁港の見学では、浜田市役所水産振興課の方から浜田市の水産業についての説明を受けた後、新しくなった荷捌き所の見学や仲買市場を見学させていただいた。</p> <p>情報収集したものを整理・分析したのち、それぞれが新聞にまとめた。</p> <p>また、学習したことをもとに劇を作り、学習成果発表会でお家の人に発表した。劇づくりでは、学習したことを分かりやすく伝えるために、発表の仕方をそれぞれのパートで工夫した。</p>		
 		
海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ・「お家の人に浜田の水産業のよさを知ってもらおう」という、ゴールを設定し、調べ学習や見学で分かったことを新聞づくり、劇の表現活動につなげていくことができた。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> ・浜田の水産業について知ること、浜田の素晴らしさやよさについて考えることができた。 ・本年度はコロナの影響もあり、水産業についての体験的な学習（魚をさばいたりする体験等）ができなかった。もう少し浜田の魚について体験的に学習する方法を考えていきたい。 		

学校名		浜田市立松原小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5	総合的な学習の時間	浜田の海のためにできること
単元又は授業等のめあて・目標		<ul style="list-style-type: none"> ・浜田の水産業の歴史や現状を知る。 ・地元の海やそこで働く人に関心をもつ。 ・地元の海のために自分たちにできることを考え、実践する。
関係機関・団体等		株式会社シーライフ、山陰中央テレビジョン放送株式会社 浜田市教育委員会生涯学習課、浜田市観光課
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>第1次 <u>浜田の水産業の現状を知ろう。</u>（1～4時間） 運用前の「浜田水産物地方卸売市場7号市場」を見学した。また、水産振興課の方から浜田の水産業の漁獲高の推移や、水産業を活性化させるための取組みについて説明をしていただいた。その後、学級全体で探求していく課題作りを行った。</p> <p>第2次 <u>浜田の海を盛り上げる方法を考えよう。</u>（5～12時間） 児童が考えた課題「浜田の水産業を盛り上げるためにはどうしたらよいか」を基に、課題追及の活動を行った。課題探究の方法として、まずは水産業に携わっておられる方がどのような取り組みをしておられるのかをインターネットで調べ、その後講師の方（シーライフ）からお話を伺った。また、浜田の海の歴史（北前船）について資料館やフィールドワークを通して学び、課題解決のヒントとした。学習を踏まえて、浜田の海を活性化させるために「缶詰のパッケージ制作」と「缶詰を使ったレシピ開発」に取り組むことになった。</p> <p>第3次 <u>浜田の水産業をPRしよう。</u>（13～20時間） シーライフと協力し、児童が描いた魚を缶詰のパッケージにした。また、浜田の海の良さをPRするためキャッチコピーを考え、チラシにした。さらに、缶詰を使ったお手軽レシピを考え、実際に作り、レシピにした。これらは、ふるさと納税品となった。</p>		
<p>海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えた課題を大切に、単元計画を作成した。 ・生涯学習課や観光課と協力して、地域の人材を有効に活用することができた。 ・座学や校内での調べ学習だけでなく、実際に近隣の商店や漁港、卸市場などの校外活動を通して、本物に触れたことで学びが実感を伴ったものになった。 		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p> <p>○浜田の海の良さやそれを広めようと尽力されている地域の方に触れ、多くの児童が「自分たちも何かしたい」という思いをもつことができた。</p> <p>○課題解決のために友達と協力して試行錯誤する楽しさを感じていた。</p> <p>●学習してきたことのまとめ方や発信の方法を児童が主体となって取組めるような事前の準備や指導が必要であると感じた。</p>		



学校名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
3年	総合的な学習の時間	海の生き物について知ろう ～海の生き物の自然のかくし絵～
単元又は授業等の めあて・目標		・海の生き物の保護色や擬態などについて知る。 ・アクアスの水槽の中にある「かくれ名人」の生き物を見つける。
関係機関・団体等		アクアス（魚類展示課学習交流係）
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>・期日、日程、概要</p> <p>9：00～12：00 アクアス内の水槽を周り、事前学習で配布したワークシートに紹介されたかくれ名人の生き物たちの数を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護色については、国語「自然のかくし絵」で昆虫の保護色について学習済。今回は、その関連学習として、海の生き物の身を守る工夫について学んだ。 ・途中、各クラス30分ずつ、スライドなどを使って海の生き物が自分の身を守る工夫について学芸員より学ぶ。 ・10：30～10：50は、シロイルカのショーを見学する。 <p>14：05～14：50 学校で学習のまとめ（礼状の形でまとめる）</p>		
		
<p>海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <p>国語科の学習「自然のかくし絵」の学習の発展として、1学期の総合的な学習の時間の取組「マイ研究レポート」でも、生き物の様々な工夫について調べさせ、海の生き物や身を守る工夫についての興味・関心を高めた。</p> <p>事前にアクアスの担当者と打ち合わせを行い、「かくれ名人の数を当てよう」というワークシートを用意してもらった。話を見聞きするだけでなく、実際の水槽をめぐって隠れている生き物を探す体験活動が有効であった。</p>		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p> <p>視点をもって生き物を観察することで、生き物に対する興味が高まったり理解が深まったりしたことが、児童のふり返りの作文から感じられた。専門家から分かりやすく説明してもらったり、実際の生き物の様子を観察したりする活動を、これからも積極的に取り入れていきたい。</p>		

学校名		浜田市立美川小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
4	総合的な学習の時間	周布川について調べよう
単元又は授業等の めあて・目標		指標生物を通して周布川の水質を調べ、地域の自然を大切にしていこうとする心情を育む。
関係機関・団体等		しまね海洋館アクアス 学習交流係
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、直前まで活動自体が実施できるか危ぶまれたが、可能な範囲での感染予防を徹底した上で、講師を招いて7月20日（月）に活動を行うことができた。実施場所は当初周布川河川敷を計画していたが、直前の降雨による増水で流れも速くなっていたため、安全面を考慮して支流の内田川に変更した。当日は最初に職員の方から指標生物の採取方法についてレクチャーを受け、現地で指導を受けながら指標生物の採取を行った。児童は清涼な川の水に足を浸しながら、川石をひっくり返したり、川底をあさったりして、時間いっぱい集中して作業に取り組み、多くの指標生物をバケツに採取して学校に持ち帰った。その後、教室で採取した生き物を分類し、指標生物のカードや生き物図鑑等を使って生き物の名前や特徴、さらには生態を調べ、内田川の水がとてもきれいな水であることを確認することができた。</p>		
 		
海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ・児童がアクアスの職員さんから直接お話を聞いたり、質問に答えてもらったりする時間をしっかり確保した。 ・活動にあたっては、公民館に地域の活動ボランティアを依頼し、当日現地で安全指導をしながら児童と一緒に活動をいただいた。活動場所の選定にあたっては相談にのっていただいたり、川に降りるための梯子の準備をしていただいたりと、大変お世話になった。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>この学習の前に社会科で美川浄水場の見学を行っており、そこで美川（周布川）の水が浜田市民の暮らしを支えていることを学んでいた。その学習と結びつけて、身近な川の良さやありがたさに気づき、地域の自然に対する愛着が一層深まった。学習の成果や感想を学習発表会で家族に向けて発表したことで、地域の自然を大切に守っていこうとする思いがより強くなったと思われる。</p>		

学校名		浜田市立周布小学校	
学年	教科等	単元名又は授業等名	
3	総合的な学習の時間	「浜田のよさを知ろう」	
単元又は授業等のめあて・目標		藻塩作り体験を通して、ふるさと浜田のよさを再発見し、ふるさと浜田を大切にしていきたいという思いをもつ。	
関係機関・団体等		浜田の海で生活する会	
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）			
<p>藻塩作り体験を行うにあたって、事前学習として、浜田の海で生活する会の方々について知る活動を行った。ホームページや動画を視聴し、会の活動の様子、藻塩作りに対する会員のみなさんの思いなどを理解したうえで体験活動に臨んだ。</p>			
1 実施日			
11月25日（水）			
3年1組（20名）		8：45～10：15	
3年2組（21名）		10：40～12：10	
2 参加者			
3年生児童41名			
3 内容			
① 浜田の海で生活する会の方からのお話			
② 藻塩作り体験			
<ul style="list-style-type: none"> ・藻塩作りに必要な海藻の紹介 ・藻塩作り ・試食 ・パック詰め体験 			
③ 質問タイム・感想発表			
④ お礼の言葉			
   			
海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）			
<ul style="list-style-type: none"> ・海をテーマとした調べ学習だけではなく、実体験を通して、浜田の海そして浜田の魅力を体感してほしいと願い、藻塩作り体験に取り組んだ。 ・藻塩作りを体験するだけでなく、海と暮らす人々の思いや願いを知った上で体験活動に取り組めるよう、事前に「浜田の海で生活する会」について調べる活動を行った。 			
児童に見られた変容、取組の成果や課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・藻塩のおいしさを通して、浜田の海の豊かさ、魅力を感じた児童が多くいた。 ・会員の方の話から、浜田の海のきれいさを知り、その海を残していかなければいけないという思いをもった。 ・学びの成果を幅広く発信する活動にまでは至らなかった。もっと多くの体験活動を継続的におこなったりしながら、より多くのひと・もの・ことに触れる必要があったと感じた。 			

学校名		浜田市立長浜小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5	総合的な学習の時間	浜田の海を知ろう
単元又は授業等のめあて・目標		実際に見学したり体験したりすることを通して、地域の海や港をより身近に感じる。
関係機関・団体等		島根県水産技術センター、浜田市水産振興課
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>熱田ビーチのゴミを調べよう（総合的な学習）</p> <p>熱田ビーチでゴミ拾いを行った。学校へ戻ってから、どんなゴミがどのくらいあるのかを調べるため、ゴミの種類ごとに分別する活動を行った。実際にごみ拾いをする体験を通して、海洋ゴミ問題に関心をもつきっかけとなった。</p>		
		
<p>水産技術センターに行こう（総合的な学習）</p> <p>島根県水産技術センターの見学に行った。研修室で浜田の水産業や漁法などについて説明を受けた後、標本やパネル展示を見学した。日頃見ることのない標本をくわしく見ることで、海の研究のために標本を作製していることなどを知ることができた。</p>		
		
<p>漁港に行ってみよう（社会科・総合的な学習）</p> <p>浜田市水産振興課の協力で漁港の見学に行った。水揚げの状況についての説明を聞き、浜田漁港の大切さを知った。</p> <p>また、仲買市場を見学したり、浜田の水産業について質問したりし、今後の水産業の課題について考える機会となった。</p>		
		
海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが疑問に思ったことを学習課題とし、解決方法を自分たちで探っていくこと。 ○実践したことをまとめ、伝える場を設けること。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの身近にある海、港、水産業について多くのことを学んだ。実際に見学したり体験したりすることを通して、地域の海や港をより身近に感じるとともに、重要性にも気付くことができた。 ○たくさんの講師の方とコミュニケーションを図ったり交流したりして、それぞれの思いを知ったり海の良さを自分が感じたりし、海を大切にしようという意識や海への関心が高まった。 ○わかったことや体験したことなどをリーフレットにまとめることで、海の大切さを再確認するとともにみんなに伝えようという思いを膨らませ、発信することができた。 		


学校名		浜田市立三階小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5	総合的な学習の時間	浜田市の水産業について調べよう
単元又は授業等のめあて・目標		<ul style="list-style-type: none"> ・浜田市の海・水産業への興味・関心を高める。 ・水産業について、調べたり、話を聞いたり、見学したりしたことをまとめる。
関係機関・団体等		島根県水産技術センター
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>○浜田市の水産業について調べる（6h）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネットを活用して、水産業について調べた。 ・島根県水産技術センターへ行き、センターの方の話を聞いたり、施設内を見学したりした。（令和2年7月1日 島根県水産技術センター） <p>○浜田市の水産業について調べたことをまとめる（8h）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田市の水産業について調べたことをポスター、リーフレット等にまとめた。 		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>○専門的な立場の方（島根県水産技術センターの方）からの話を聞く学習を設定したこと</p> <p>○島根県水産技術センターの施設見学を設定したこと</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>○浜田市の水産業について本やインターネットで調べたり、話を聞いたりすることを通して、浜田市の海や水産業への興味・関心が高まった。</p> <p>○水産資源の豊かさに気付き、浜田市の海、水産業は浜田の誇りであると考えていた。</p> <p>○2学期の社会科「水産業のさんかな地域」へと関連づけ、学習を深めることができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得なかったが、座学や見学が中心となった。体験等も通して、浜田の海の素晴らしさにふれていくことも大切であるとする。</p>		

学校名		浜田市立雲城小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
4	総合的な学習の時間	ふるさと浜田・金城の環境(山・川・海のつながり)を学ぼう
単元又は授業等のめあて・目標		海釣りを通して浜田の海に親しみ、ふるさとに対する愛着を深める
関係機関・団体等		浜田ライフセービングクラブ・浜田の海で生活する会
単元又は授業等の概要(期日、場所を含む)		
<p>【海釣り】令和2年10月7日 9時30分から11時 場所:瀬戸ヶ島 4年生児童16名参加 山・川・海のつながりをさぐる体験活動の一環として海釣りを実施した。生きた魚を触ったことがない児童が多くおり、書物や映像だけでなく、豊かな浜田の海を実感してほしいと考え、本事業を選択した。当日は浜田ライフセービングクラブの皆さんの懇切丁寧な指導と安全対策により安心して釣りを楽しむことができた。10匹近く釣り上げた児童もいて、全員が豊かな浜田の海を実感することができ、とても楽しい活動となった。また海釣りをしたいと笑顔で答える児童がたくさんいて、「海釣りを通して浜田の海に親しみ、ふるさとに対する愛着を深める」という目的は達成されたと考えている。</p>		
		
海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント(工夫したこと)		
<p>事前に金城町の里山にあるトンボ公園と浜田川の生き物調査をした。また、アクアスの方に来校していただいて海の生き物の共生関係について教えていただいた。事後に唐鐘漁港でプランクトンを採取して観察し、海の世界連鎖について調査した。調査後、インターネットや図書館で調べ学習を行い、話し合った。豊富な体験が情報の蓄積となり、児童は意欲的に学習に取り組んだ。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>〈児童に見られた変容、取組の成果〉 調べ学習を通して魚は動物プランクトンを食べて育つこと、そして動物プランクトンのえさとなる植物プランクトンは私たちが住んでいる山間部を流れる川が運ぶ栄養によって育っていることを学んだ。現在海の魚は減っている。浜田の魚を増やすため、ひいてはそれを食べる人間のため、「山に木を植えたい」「自然の中にごみを捨てません」などの自分の考えを学習発表会で発表した。自然を愛し、ふるさと浜田・金城の環境を大切にしようと思う気持ちを子ども達が持った事実が児童に見られた変容であり、取り組みの成果である。</p> <p>〈課題〉 アクアスの協力を得て、山・川・海で豊富な体験活動を実施した。大がかりな取り組みとなるので、年度当初から先を見通した準備が必要になる。</p>		

学校名		浜田市立今福小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5年	総合的な学習の時間	魚料理に親しもう
単元又は授業等のめあて・目標		地元の魚を自分で調理し、食べる活動を通して、地元の水産業への興味・関心を高める。
関係機関・団体等		浜田市水産業振興協会、浜田市水産振興課
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>①社会科の授業で漁港を見学する。（4時間）</p> <p>②児童一人一人が魚をさばく体験を含めた調理活動を行い、作った料理を味わう。（4時間）</p> <p>【メニュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジバーガー ・コーンスープ 		
    		
<p>海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがふるさとの海の恵みを感じることができるよう、どんちっちブランドのアジを使って自ら調理し、食べるという活動に取り組んだ。 ・魚料理を自分で作るという活動と浜田の水産業についての学習を組み合わせることで、学習への意欲を高めようと考えた。 		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p> <p>魚をさばくという体験に興味を持って取り組めた子どもが多かった。今回の体験を通して、「また魚をさばいてみたい」とか「家でも魚の料理を作りたい」という思いを持った子どもが多く、魚料理への関心の高まりという点で成果があった。今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、保護者と一緒に体験する予定を変更して児童だけの活動とした。来年度は活動ができるのか見通しが持てない状況であり、今後の活動を検討する必要がある。</p>		

学校名		浜田市立波佐小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
全	生活科 総合的な学習 の時間	海の環境保全 春夏秋冬 自然散策をしよう
単元又は授業等の めあて・目標		地域資源を活用した教育活動を通じて、ふるさとを愛し、誇りをもつ心を育むことができる。
関係機関・団体等		波佐文化協会
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
実施時期	7月2日（木）2時間	
実施場所	常盤八幡宮の裏	
対象者	波佐小学校全校児童	
内容	常盤山のカシ林にてネイチャーゲームを行う。	
授業の様子	<p>地図を頼りに散策開始！</p>   <p>見つけたものには、写真をパチリ！</p>   <p>登ったり降りたりしながら、自分のお気に入りの木を探します。</p> <p>すべらないように、ゆっくり腰を低くして降りていきます。</p> <p>大きなカシの木をくぐると、ご利益があるかもしれません？</p>	
海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> 海洋教育を広くとらえ、今年度は波佐地域にある常盤山のカシ林を散策することにした。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> 郷土の自然である「常盤山のカシ林」の大きさや、いろいろな植物をみつける活動を通して、自然林を守ることが海を守ることに繋がることを知ることができた。 6年生は「森は海の恋人」ということを学習していたので、郷土の自然の美しさが川をまもり、海を守ることを実感することができた。 今年度はコロナ禍のため、3回予定していた自然散策が1回しかできなかった。来年度は、ぜひ、春夏秋と3回行いたい。 		


令和2年度海洋教育実践事例

学校名		浜田市立旭小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
1	生活科	「浜辺を歩いてみよう」
単元又は授業等の めあて・目標		浜辺を歩く活動を通して、海や海の生き物に触れ、海のよさを感じ、親しもうとする心情を育てる。
関係機関・団体等		島根海洋館アクアス
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>[10月21日 波子海岸]</p> <p><u>浜田の海について知ろう（10分）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アクアスのスタッフの方から、地図を見ながら浜田の町と海の位置や、海の生き物について話を聞く <p><u>浜辺を歩いてみよう（10分）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海の色、波の音、風のにおい、砂浜の感触などについて感じながら浜辺を歩く。 ○ 感じたことを話し合う。 <p><u>貝殻を集めよう（25分）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 貝殻を拾い集める。 ○ 貝殻の種類、大きさ、色などに注目し、気づいたことを友だちと伝え合う。 		
 		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が海を身近に感じるように、島根海洋館アクアスのスタッフの方と事前に相談し、話していただく内容を決めた。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が海に親しむ気持ちが増し、後日海の生き物に関する本を読んだり、図画工作の作品の中に拾った貝殻で飾りを付けたりする姿が見られた。 		



学校名		浜田市立旭小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
2	生活科	「生きもの なかよし 大作せん（海の生き物をしよう）」
単元又は授業等のめあて・目標		海にすむ生物に関心をもち、生物の多様性に気付き、自分たちと同じように生命をもっていることに気付くとともに、生き物に親しむ気持ちを持つことができるようにする。
関係機関・団体等		しまね海洋館アクアス
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>「海にすむ生き物をしよう」</p> <p><u>海の生き物を図書館で調べよう（1時間）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの生活の中で知っている生き物の種類や、特徴について話し合う。 ○ 生き物の名前、特徴など、わからないものについては図書で調べる。 【国語との関連：上P24～25としょかんへ行こう】 ○ 生き物がすむ場所、採集できるものはその方法などについて話し合い、生き物を観察・採集しに行く計画を立てる。 <p><u>海の生き物に会いに行こう（1時間）</u></p> <p>[10月8日(木) 島根海洋館アクアス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水族館職員の方の説明を聞いたり質問したりして、海の生き物の種類や生態、飼育方法について学ぶ。 ○ 海の生き物と接する際に必要な衛生面や安全面について学ぶ。 <p style="text-align: right;">【学校行事との関連：アクアスへ行こう】</p>		
<p>海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が海から離れており、ふだんの生活の中で海を目にするのは少ないため、図書資料を多く用意することで興味を持たせ、学習への意欲を高めようとした。 ○ 児童の最初の関心は生き物の種類や特徴であるが、バックヤードの見学をし、職員の方々からの話を聞くことで、海の生き物を飼育することへも興味を持たせるようにした。 		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の海の生き物への関心を高めることができた。 ○ 海の生き物を飼育するための環境整備を進めたり、海で安全に活動できるような機会を設けたりして、海で採集した生き物を学校で飼育できるようにしていきたい。 		



学校名		浜田市立旭小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
4	学級活動	「食べてみよう！地域でとれる食材や食品」
単元又は授業等のめあて・目標		地域の産物に興味をもち、日常の食事と関連づけて考えることにより、郷土を身近に感じるとともに、食べ物、食事に感謝する心を育てる。
関係機関・団体等		旭学校給食センター
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>〔12月15日〕</p> <p><u>地域でとれる食材や食品について調べよう（15分）</u></p> <p>○知育でとれる食材や食品を見つけて、ビンゴゲームをやってみよう。</p> <p style="text-align: right;">【食の学習ノート】</p> <p><u>給食に使われている地域でとれる食材や食品について話を聞こう（15分）</u></p> <p>○浜田市でとれる食材や食品について、それぞれどのような特徴や調理方法があるか考える。</p> <p>○給食の献立の中にある浜田市でとれる食材や食品を見つける。</p> <p><u>学習で分かったことを話し合おう（15分）</u></p> <p>○地域でとれた食材や食品を使って、家庭でできる料理を考える。</p>		
		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
○ 児童が特に水産物に注目するように、給食センター（栄養教諭）と事前に内容を相談して、掲示物やエピソードを用意しておいた。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
○ 浜田でとれる水産物や水産加工品について、児童の関心を高めることができた。		

学校名		浜田市立旭小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
5	社会科	「水産業のさかんな地域」
単元又は授業等の めあて・目標		我が国の水産業に関心を持ち、水産業が自然環境を生かして営まれ国民の食生活を支えていることや、水産物には外国から輸入しているものがあること、主な漁場の分布、水産業に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ輸送の働きを理解するとともに、国民生活を支える水産業の発展について考えようとする。
関係機関・団体等		浜田市水産振興課
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p><u>水産業について調べよう（1時間）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な水産物と水産物の必要性について話し合う。 ○ 日本の水産物消費量、主な漁港の水揚げ量、日本近海の地形や海流などの資料から学習問題をつくる。 <p><u>水産業のさかんな地域について調べよう（6時間）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 浜田市の水産業について調べよう。 〔9月24日（木） 浜田漁港、水産物仲買市場〕 浜田漁港、水産物仲買市場を見学し、浜田市の水産業の様子について調べる。 ○ いろいろな漁業について調べよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖合漁業 ・ 遠洋漁業 ・ 養殖 ・ 栽培漁業 ○ 漁港の様子と機能、水産物の輸送の工夫について調べよう 		
		
海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 表、グラフ、写真、地図など最新の資料のほか、映像資料を用いたりし、水産業への関心を高めるようにした。 ○ 図書館に水産業に関する図書を整備し、調べ学習に取り組みやすくした。 ○ 全国的な水産業の様子だけでなく、地元浜田市の様子について取り上げることで、水産業を身近に感じられるようにした。 		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の水産業への関心を高めることができた。 ○ 水産業に直接携わる人から話を聞いたり、水産物加工施設を見学したりする機会を設けるなどして、より関心を高めたい。 		

学校名		浜田市立弥栄小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
全	体育・生活科 総合的な学習 の時間	海の安全について
単元又は授業等の めあて・目標		海辺での危険から、自分の身を守るための知識・技能を習得する。
関係機関・団体等		浜田の海で生活する会・浜田ライフセービングクラブ
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む）		
<p>1学期末 7月31日（夏休み前日） 会場：浜田市立弥栄小学校 多目的室</p> <p>○「海辺の安全教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> 海辺での活動にはライフジャケットが必須であることを、死亡率に関するデータを用いて、説明頂いた。その後、実際にライフジャケット着用体験を行い、体形に合ったものを着実に着ることの大切さを確認した。 また、離岸流の図や危険な生き物の写真を用いて、何が危険かを学ぶとともに、そういう場に遭遇した時、どう行動すべきかを具体的に学ぶことができた。 		
 		
海洋教育にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>石見海浜公園や波子海岸で活動している浜田ライフセービングクラブから講師を招き、安全だけでなくふるさと浜田の海の美しさや、活動を始めた理由なども併せてお話しいただいた。誇りを持って活動しておられる姿を見て、子どもたちにとっても海の安全や環境を守る意欲につながっていきたいと考えたからである。浜田の海に愛着と誇りを持ち、自分にできることは何かを考える子の育成につながっていきたい。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>児童は、積極的に質問し、クイズ形式の問題にも意欲的に答えていた。水辺で安全を確保するには、まずはライフジャケットが大切であること、そのうえで、いざというときにはどのように行動すればよいかを学ぶことができた。</p>		

学校名		浜田市立岡見小学校
学年	教科等	単元名又は授業等名
6	理科	人と環境とのかかわり
単元又は授業等の めあて・目標		人は、空気や水、他の生き物とどのように関わり、どのような影響を及ぼしているか、ふるさとの海の様子から学び、これからの生活に生かそうとすることができる。
関係機関・団体等		しまね海洋館アクアス
単元又は授業等の概要（時間数）		
<p>○事前 人と環境とのかかわりについて考える。（空気、水、生き物）</p> <p>○本時</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習をふり返る。 （4年生時の川の環境学習・生物調べ等を含む） 海の漂着物クイズ 漂着物を通して考える。 海と外国とのつながり 海と川と山とのつながり 海と生き物とのつながり 海と生活とのかかわり ふり返り 本時をふり返る。（新たな気づき等） これから自分がとりたい具体的な行動について考える。 		
 		
<p>海洋教育の目標にせまるための単元計画又は授業・活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科で学習したことをふるさと浜田の海や川、自分たちの生活とつなげて考えさせるようにしたこと。 しまね海洋館アクアス学習交流系のスタッフと相談しながら学習過程を組み、通常できない気づきや行動につながる学習ができたこと。 		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ふり返り時に、「海に行ったときにごみを出さないだけでなく、10個でも持って帰るようにする。」「海に関心をもつ」、「漂着物を拾って調べてみたい」、「海を含めたふるさとをよい空間にしていきたい。」という声があり、学習の発展として有効であった。 本学習後に、総合的な学習の時間（環境学習）で実際に火力発電所の波止に渡り、ふるさとの海で環境について考えることを予定していた。しかし、コロナ禍のため、実施を見送った。実際に調査等できなかったことは残念であったが、アクアス学習交流系のスタッフと相談することによって岡見の海や川のすばらしさやこれからの生活の仕方の大切さに気づかせることができた。 		